

メダリストが指導 子どもたち大興奮

11月6日(日)、ふれあいの里公園において、男子400メートルハードルの日本記録保持者である為末 大さんと、リオパラリンピック走り幅跳びで銀メダルを獲得した山本 篤さんによる『メダリストが教える陸上教室』が開催されました。

これは、有明高校跡地に鹿児島県が整備を進めている『大隅陸上競技トレーニング拠点施設(仮称)』を活用し、多くの合宿者を呼び込み、本町を『陸上競技の聖地』として認識していただくための取り組みの一環として開かれ、町内の小中学生約100人が参加しました。

為末さんと山本さんは、早く走るためのポイントとして、『腕の振り方』『スタートダッシュの仕方』などアドバイスを行いました。また、「走りはジャンプの連続で、姿勢が大事」と話し、小さなスキップや大きなスキップの指導をしました。

教室の最後には、参加者との競走やハードル飛びを披露し、記念撮影を行いました。メダリストから教わるという貴重な体験は、参加者にとって一生忘れられない思い出になったことでしょう。



くにの松原にて



▲町長と固い握手を交わす山本さん(左)と為末さん(右)

早朝、クロスカントリーコースの整備が計画されているくにの松原を訪れ、町長から『陸上競技の聖地』としてのまちづくりについて説明を受けました。お二人は松林の恵まれた環境に感銘を受けている様子でした。その後、あすばる大崎で為末さんによる『スポーツの可能性』と題した講演会や、山本さんをお交えてのトークショーが行われ、合宿地に必要な環境や受入先に求めることなどを話しました。